

平成30年度入学試験問題（推薦入試Ⅰ）

小論文

農学部 亜熱帯生物資源科学科（健康栄養科学コース）

注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、90分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問 題

次の文章を読んで、以下の各問に答えなさい。

非公開

(※「第1回ゲノム情報を用いた医療等の実用化推進タスクフォース資料 ゲノム医療等をめぐる現状と課題」平成27年11月17日から抜粋・一部改変、
http://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-10601000-Daijinkanboukouseikagakuka-Kouseikagakuka/151117_tf1_sl.pdf)

- 1) 遺伝子型：この場合、疾患等の「発症リスク」に関連する特定の遺伝子の型のこと
- 2) 表現型：この場合、疾患等の「発症リスク」のこと

問1 下線部^A（遺伝情報が）「不適切に扱われた場合には被検者および被検者の血縁者に社会的不利益がもたらされる可能性がある」における考えうる具体的なリスクにはどのようなものがあるかを3つ提示し、ゲノム医療の健全な発展のためにはそれらの問題点をどのようにすれば最小化できるか、あなたの考えを600字以上、800字以内で述べなさい。

問2 下線部^B「利用者自らの行動変容を促す」とはどのようなことを指していると考えられるか、あなた自身が代表的な生活習慣病である成人型糖尿病の将来の発症リスクが一般人口における平均発症率の5倍となると診断された場合を想定し、400字以上、600字以内で述べなさい。

平成30年度入学試験問題（推薦入試Ⅰ）

小論文

農学部 亜熱帯生物資源科学科（健康栄養科学コース）

出題の意図

この小論文の意図は、本コースのアドミッションポリシーである「栄養学・食育を通じて地域社会の健康の保持増進に貢献したい人」を踏まえ、将来は人々の健康を支える役割を担う者として普段から社会的な問題の動向や健康に関連するさまざまな情報に関心を抱くとともに自らの考えを持つこと、さらにはそれらを論理的に説明できるかどうかを問うものである。